

道路アセットマネジメント技術

～最先端技術の技術協力への適用～

JICAでは、「道路アセットマネジメントプラットフォーム」を立ち上げ、開発途上地域における道路インフラのアセットマネジメント手法に基づいた効果的かつ効率的な道路行政の実現に向けて支援に取り組んでいます。

その取り組みの一環として、今後の技術協力に国内最先端の研究成果を反映させることで更なる効果的・効率的な支援を実施することを目指し、2017年10月に、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)との覚書を締結し協力関係を構築しました。

本セミナーでは、道路アセットマネジメント分野の協力の担い手である皆様に対して、SIPの技術を紹介し、今後の支援をより良いものになるよう意見交換を行うことを目的としています。

SESSION 1

舗装と盛土構造の点検・診断自動化技術の開発

SESSION 2

岐阜大学 村田 芳信

高速走行型非接触レーダーによるトンネル覆工の内部欠陥点検技術と統合型診断システムの開発

パシフィックコンサルタンツ 安田 亨

SESSION 3

道路インフラマネジメントサイクルの展開と国内外への実装を目指した統括的研究～アジアでの事例を中心に～

東京大学 長井 宏平

2018年 **3** 月 **1** 日[木]

16時00分 ～ 18時00分
(受付開始 15:45～)

○ 会場 (独)国際協力機構 本部

東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル 113会議室

○ 入場無料(先着40名)

※参加者多数となった場合、お断りさせていただくことがございます。

○ 参加登録 2月27日(火)17時までにご氏名・ご所属・ご連絡先を記載の上 JICA課題部支援ユニット(Kadaishien_chosei@jica.go.jp)まで電子メールでご申請ください。

